

4月14日練習レポート

「帆を上げよ、高く」から「春愁のサーカス」

作詩：みなづきみのり 作曲：信長貴富

同志社大学をイメージしつつ、特に若者たちへの励ましのメッセージが込められた、みなづきみのりの3編の詩をテキストし、詩の内容に合致し、さらに各曲のスタイルに明確な性格を持たせることを意図して作曲されています。空を翔る鳥の動感や速力を感じさせる「翼よ、お前の空を翔ろ」、スケルツォ風な曲の後に壮大なコーラル続く「春愁のサーカス」、そして古典的な手法に重きを置いた「帆を上げよ、高く」の3曲。

今日の練習は陽ちゃん先生がオマージュされた歌詞がところどころに表現された「春愁のサーカス」、「月光とピエロ」の音楽がベースにあるとマエストロこと尾崎さんが説明されて納得、ところどころになんか記憶ある音調が……確か3年のクリスマスコンサートで男声合唱で「月光とピエロ」を歌った記憶がよみがえる

当時、私は陽ちゃん先生担当の渉外マネージャーであり、先生と過ごす時間は、ヨーロッパ演奏旅行もあり、歴代でも多いほうであり、楽しい時間だった。当時を思い出しながら、いろんな思いを持ちながら土曜のひとときを過ごさせて頂きました。

練習会場は1会場なのに、今日はパート別練習があるから最初から参加しようね！と先輩、後輩から連絡をもらうなか(昨年練習会場の間違いをして以来ちよくちよく直前に開場の連絡を先輩・後輩から頂く)、どうやってやるんだと思いつつ、仕事を途中であきらめ、楽譜や多摩交通費支援金グッズをバックに詰めて練習に臨むも20分ほど遅刻。

ドアを開けると女声陣の合同練習、どこでやってるんだと思うと、女声陣が指差したところは備品倉庫、恐る恐るドアを開けるとそこにはテナーの面々が部屋いっぱい、でも文京福祉センターは移転してまだ新しい会場でしたのできれいで窓も明るくきれいなのでなんとかなりました。でも窓が開けられないので空気の入替えのため、休憩し扉をあけてしのぎました。先輩にベースは何処でやってるのか聞いたらあっちの収納庫と反対側を指を差されました。

マエストロ尾崎さんがおっしゃるには2曲目が一番の難関とのこと、たしかにところどころ取りよのない音もあり4分の2、5拍子とかもありみなさん苦労してました。前回1曲目の練習に参加出来なかったのは非常にヤバイと感じたとともに、若手でオンステ希望の面々も早く練習にできればいいのになと思いました。



黄色の矢印がテナー部屋(解放中)



青の矢印がベース部屋の扉

OB合唱団の練習日誌から (4月7日の練習日誌)

4月7日 アーリーに向けての練習3回めです。

体操の後、北條先生の発声指導がありました。

みぞおちのあたりの大黒柱、肩甲骨を意識し、つむじのあたりを開いてリラックスさせ息を流す等です。つむじのあたりを開くよう意識すると、そのあたりの力が抜けて楽に声が出せるような気がします。曲の中で使えるようにならなくては「島よ」の練習は3回めになります。前回の合同曲「帆を上げよ」の練習は何がなんだか分からないまま、曲の感じを掴もうとしていたのですが、「島よ」は殆どの方が何回か歌ったことがあるということで、個人的には50周年フェスティバルで歌った箇所以外は初めて歌ったのですが、周りの方が素晴らしく歌ってくださったので大いに助けられました。先日送っていただいた1996年の「島よ」、聴かせていただきましたが感動的でした。当時の出演メンバーも、そうでない方もアーリーの練習に一人でも多く参加して下さると嬉しいです。

アーリーの練習、3回めが終わったわけですが、次回はまた「帆を上げよ」の練習で苦労しそうです。単独、合同とも難しいですが、なるべく曲に触れる時間を作って、少しでも早く曲に慣れていきたいと思います。

現役 新歓奮戦中！！ 4/8新歓の集大成、恒例のバーベキュー大会

次回練習のご案内

4月21日 土曜日

桜山キリストの教会
(スリッパをご持参ください)

中野区東中野3-7-8 総武線・東中野駅(中野側)下車5分・明大中野高校手前を右に入る

練習曲

13:00~14:50 「島よ」 OB単独

15:00~16:50 「帆を上げよ、高く」 合同

2018.4.16 法政大学アカデミー合唱団OB会
(吉田@22期)



練習終了後、現役幹事とアーリーサマーの打ち合わせを実施、現役からは新歓では例年以上の実績を残せたとの報告がありました。また、アーリーサマーのチケット代《大人・大学生 ¥1000/高校生・中学生 ¥500》と開演時間が16時に内定致しました。